同窓生シリーズ 第93回

新宿高校朝陽会 バスケットボール部OB・OG会

Basketball Club OB&OG

〈会の目的〉
バスケットボール部卒業生の親睦／高校生のバスケットボール競技活動の支援
〈会の歴史〉
昭和元年設立。初代主将は、正木正巳氏（故人／元、三越副社長）。終戦後、卒業生による熱心な指導が行われていたが、新宿伊勢丹を拠点とした米軍GHQのチームが新宿高校の体育館で度々練習、当時の選手達に大きな刺激を与えた。以来、日本のバスケットボール界で活躍した卒業生も少なくない。
〈現在の主な活動〉
現会長 望月慎一氏（第15回生）／総会と親睦試合の開催（試合後、卒業生からの講話を実施）／現役生への支援（公式ユニフォーム支給、活動費等）／OBOGチームによる区民大会や戸山戦の出場

三浦 正純
第６回生
立教大学卒
経歴：
第一生命保険株式会社、ホテルオークラ

須藤 亮一
第26回生
東京農工大学卒
経歴：
富士ゼロックス株式会社

同期会はバイタリティあふれる一風変わった仲間たち

―バスケットは長く続けていらっしゃるのでしょうか？

三浦さん　もうできないね、今は。でも、日本バスケットボール協会Eクラスのコーチの資格を持っていたので、卒業後も途切れる事なく70年間バスケに関わり続けています。現在は十日会（朝陽会発足の先駆けとなった有志団体）の会長をしています。

―卒業後も母校に関わってきた事で良かった点はありますか？

須藤さん　現在の日本社会では異なる世代と出会える機会が少ないため、このような場所はとても貴重です。昔は現役生が直接卒業生を訪問して活動報告と支援を求める活動を行っていたんですよ。高校生にとっては大緊張する場ですが、良い社会経験でした。

三浦さん　私は今82歳です。同期会に集まる元気な仲間は一風変わったバイタリティある人が多い。重役かと思ったらバーテンダーに転身して成功する者、原子力から農業に転身する者。一見関係ないようだけど電気の使い方や温室に工夫があるんだよね。今の新宿生にはもう少しワイルドな面を持って活躍してほしいね。

須藤さん　現役生の皆さんは、長い歴史と素晴らしい先輩が大勢いることを認識して、今の高校生活を謳歌してください。

櫻井 里豊子
第31回生
経歴：
PIAA株式会社

神崎 美津子
第31回生
武蔵大学卒
経歴：
JICAモンゴル事務所

時間軸が違っても共通の話題が持てる同窓生の素晴らしさ

―お二人の時代はどんな高校生活でしたか？

神崎さん　私たちの時代は女子が全体の3分の1で、女子バスケ部も4人だけでした。あの頃は卒業した先輩も練習に来てくれて5年位前後の卒業生の方々と交流がありましたね。

櫻井さん　今の子達はポニーテールが多くて可愛らしい。体育館が古くて暑かった私たちの時代はみんなショートカットでしたね。

―卒業後も母校に関わってきた事で良かった点はありますか？

櫻井さん　新宿高校はとにかく行事が多く、昔から館山合宿、合唱コンクール、マラソン大会などがありました。時間軸が違う年代でも、同じ景色を見てきた事で共有できる話題があります。

神崎さん　私は海外の仕事が多かったのですが、ある時モンゴルに元厚生労働大臣の塩崎さん（新宿高校卒）が来られまして、帰り際に自分が卒業生である事を告げたところ、一気にフレンドリーな雰囲気になりました。魔法の言葉のようでしたね。

河村 知行
第33回生
早稲田大学卒
経歴：
富士通株式会社

今でもバスケはライフスタイルの一部

―本日の交流試合を見て、どのように感じましたか？

河村さん　背の高い選手もいるし、スピード感があるので今年は期待できそうです。新宿生は学力も上がっているのに部活も頑張っているので素晴らしいと思います。

―現役でバスケを続けているのでしょうか？

河村さん　今はシニアの新宿OBチーム等、年50回位は練習や試合をしています。アメリカ駐在などで一時離れた時はありましたが、戻ってきてすぐに再開しました。初めての部長職がバスケ部長でした（笑）。社会人になると仕事仲間が中心になりますが、それ以外での繋がりがある事はとても良い事だと感じています。

―現役の新宿生達に期待する事はありますか？

河村さん　環境にも恵まれていますし、優秀な仲間もたくさんいるので、一生の付き合いをしてもらえれば良いですね。

森本 聡
第54回生
明治大学卒
経歴：
武田薬品工業株式会社

鈴木 哲也
第54回生
日本大学卒
経歴：
SOMPOシステムズ株式会社

試合はインターネットで遠方の仲間たちに生中継しています！

―今日の試合の感想を率直にお願いします。

森本さん　新宿生はとても礼儀正しく、ファウルの時「すいません！」と必ず声を掛けてくれスポーツマンシップに長けています。

鈴木さん　とてもよく声が出ているし技術も高い。部活でしっかり練習しているな、と感じました。

森本さん　自分たちが現役の時は、旧校舎のため体育館の床は滑るし、暑くて窓を開けていると、御苑からの風と一緒に砂が入ってくるので、一～二時間毎にぞうきん掛けをしながら練習をしていました（笑）。今は冷房完備の体育館で環境に恵まれていますね。

―現役生に伝えたいことは何ですか？

森本さん　人とのつながりを大切にしてほしいです。今日の試合はインターネットで生中継し、地方にいる仲間も見てくれているんですよ！　社会人になってからも新宿生のつながりは強いです。

鈴木さん　高校生の時しか部活に打ち込める時はないので、楽しく、思い切りやってほしいです。

この度の企画は、新宿高校卒業生でバスケ部OGとしても活動されている、現小学校教諭の太幡先生が取材の橋渡しをしてくださり実現しました。なんと、新宿高生1年の息子の妹の担任としてもお世話になっているというご縁です。対談にあたり、先生には会への取次など、ご尽力いただき誠にありがとうございました。これからも太幡先生のご活躍を祈念しております。

平成29年度総会

午後からは視聴覚室にて現役生及びOBOGを交えての総会が行われました。ここでは活動報告、会計報告等が行われた後、「先輩から現役学生へのお話し」として、元毎日新聞社の黒岩徹さん(第11回生)が登壇して下さいました。

黒岩さんはロンドン・ワシントン特派員として主にヨーロッパを中心に活躍されました。その頃のお話を中心に、趣味や友人をたくさん持つ事、豊かな生活のためには体力が大事、元気の源は高校時代にある等、学生達に語りかけてくださいました。